

海鳥講演会

2018.11.25 sun. 14:00-16:30 | 事前申込制 | 80名 | 東京都葛西臨海水族園 | 本館2階 レクチャールーム



つどえオロロ〜ン!



海鳥講演会 つどえ オロロ〜ン!

2018 11.25 日

14:00----->16:30

場所：葛西臨海水族園 本館2階 レクチャールーム

対象：年齢制限なし。小学校高学年が理解できる内容になります。

定員：80名

葛西臨海水族園でも飼育している海でくらす鳥のウミガラス。鳴き声が「オロロ〜ン」と鳴いているように聞こえることから、オロロン鳥ともよばれています。今年11月、当園では日本で唯一ウミガラスが繁殖する天売島のある北海道の「羽幌町」とパートナーシップ協定を結びます。この講演会では、天売島におとずれる海鳥の魅力や水族園でも飼育しているウミガラスについて、そして海鳥と人との関わりを紹介します。海鳥に興味がある、好きという方は是非この機会に葛西臨海水族園に「つどえ オロロ〜ン！」

1

「羽幌町」との パートナーシップ協定の調印式

2

ようこそ、海鳥がにぎわう羽幌町へ

石郷岡 卓哉

羽幌町町民課 北海道海鳥センター 環境衛生係

3

オロロンで繋がる

野島 大貴

葛西臨海水族園 飼育展示課 飼育展示係

葛西臨海水族園では、オロロン鳥（ウミガラス）を飼育するだけでなく、羽幌町や環境省と協力し様々な取り組みを行っています。今回は飼育している海鳥について、そして羽幌町や環境省と協力して行っている取り組みを紹介しながら、「繋がる」ことの大切さをお話しします。

北海道の北部、日本海に面した羽幌町は、海と森に囲まれた自然豊かな町です。その海に浮かぶ天売島は、春から夏にかけて8種類、約100万羽の海鳥が集まります。中でもウミガラスは「オロロン鳥」と呼ばれて親しまれ、町のシンボルになっています。他にもケイマフリやウトウなど島に集まる海鳥と、海鳥を守る取り組みなど、人と海鳥の関わりについて紹介します。

応募方法

Eメールで以下のとおりお申し込みください。
先着順で受付、定員になり次第締め切ります。

【宛先】 umidori@tokyo-zoo.net

【件名】 海鳥講演会

【本文】 希望者全員の氏名（ふりがな）・年齢、
代表者の住所・氏名・電話番号を記入。

お申し込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。

葛西臨海水族園

- 開園時間：午前9時30分～午後5時（入園は4時まで）
- 休園日：毎週水曜日（祝日や都民の日に当たるときは翌日）
- 入園料：一般700円／65歳以上350円／中学生250円
*小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料
- お問合せ：東京都江戸川区臨海町6-2-3
03-3869-5152
- HP：<http://www.tokyo-zoo.net/>